

北海道のユースホステルが
ANAの機内誌「翼の王国」
10月号に掲載されました。



田上義也（たのうえ・よしや、1899～1991）

1899年、栃木県出身。F.L.ライトの弟子として帝国ホテルの建設に携わる。完成後、単身北海道に渡り、ライト作品のモチーフを活かしつつ、北海道の風土に根付いた多くの建築作品を残した。元・北海道YH協会会長。

北海道建築の父・

田上義也建築巡礼

「翼の王国」の特集記事に、田上義也設計・建築の支笏湖YH・室蘭YHが取り上げられました。
北海道の旅はデザイナーズ・ホステルで！



[支笏湖ユースホステル](#)

(千歳市)

日本のYHのシンボルだった、赤い三角屋根

支笏湖YHは日本初の日本YH協会直営ホステル。

写真右側の本館が田上の設計だが、田上建築では珍しい部類に入るという。雪が積もると近所の子もたちが滑り台として遊んだという、地面まで届く長い三角屋根が特徴的。

現在は倉庫として使われているが、螺旋階段や田上自身が手がけた二段ベッドなども残されており、見学が可能。



[室蘭ユースホステル](#)

(室蘭市)

まるで草原に浮かぶホワイトベース！？

白い船のような二階建ての建築。田上が70歳を過ぎてからの後期の作品で、洗練されたデザインが特徴。

ジグザグした階段の形状や窓枠なども船がイメージされており、客室もまるで船の中のように。白を基調としつつ、階段裏側の黄色、天井の青など、配色も印象的。

眼下に海を見下ろし、周囲の自然とのマッチングが絶妙である。

まだまだある！田上建築のユースホステル



[摩周湖ユースホステル](#)

(弟子屈町)



[美幌ユースホステル](#)

(美幌町)



[小清水はなこりの宿ユースホステル](#)

(小清水町)